

【申告対象者】

フリガナ		生年月日	明・大・昭・平・令・西暦
氏名		電話番号	年 月 日
住所	伊丹市		
代理人 氏名		本人との 続柄	

【申告内容】 該当の□にチェック☑してください。

☐ A 収入がない、かつ、基礎控除以外の控除がない旨の申告 ⇒ 市民税・県民税申告書に氏名、電話番号を記入し、この記入内容補完依頼書とともに郵送してください。

☐ B 給与収入・年金収入に係る申告のための市民税・県民税申告 ⇒ 以下の手順で、添付資料等を準備してください。

申告内容がBの方 以下①～⑦の順に資料をご準備ください

- ① 収入状況 源泉徴収票又はその写しを添付してください。
- ② 扶養控除等 源泉徴収票の記載から、配偶者控除、配偶者特別控除、扶養控除、特定親族特別控除の追加がある場合
同封の市民税・県民税申告書の配偶者欄、配偶者合計所得金額欄、扶養控除・特定親族特別控除欄、16歳未満の扶養親族(控除対象外)欄に必要事項を記入してください。
* 源泉徴収票の記載分から変更がある場合は、源泉徴収票の記載分も含めて申告書に記入してください。
- ③ ひとり親控除 源泉徴収票の記載から、ひとり親控除または寡婦控除の追加がある場合
寡婦控除 同封の市民税・県民税申告書の裏面『本人該当事項』にチェック☑し、寡婦控除の適用を受ける場合は、理由に○を記入してください。
- ④ 障害者控除 源泉徴収票の記載から、障害者控除の追加がある場合
障害者控除の対象となる本人または扶養親族の手帳の写し(氏名、障害の種別、等級が記載された面)または「障害者控除対象者認定書」を、添付してください。
- ⑤ その他の所得控除 源泉徴収票の記載から、社会保険料控除、小規模企業共済等掛金控除、生命保険料控除、地震保険料控除の追加がある場合
支払額を証明する資料を添付書類台紙に貼付してください。
- ⑥ 寄附金控除 市民税・県民税申告書の裏面『寄附金に関する事項』の区分に応じて金額を記入し、寄附金の受領証を添付してください。
- ⑦ 医療費控除 同封の医療費控除の明細書を作成し、添付してください。(医療費控除の明細書の書き方は別紙記入例をご覧ください。) * 医療費の領収書の提出は必要ありません。ご自宅で5年間保管してください。

提出前にご確認ください

- 市民税・県民税申告書の氏名、電話番号の記入確認
- 添付書類の確認(本人確認書類、源泉徴収票、控除証明書 等)
- 市民税・県民税申告書、申告書記入内容補完依頼書(本紙)、添付書類台紙、医療費控除の明細書を郵送で提出
なお、申告書の控えが必要な方は、所定の郵便料金の切手を貼付し、返送先の宛名を明記した封筒を同封してください。
※ご自身で記入した申告書の控えが添付されていても、封筒が同封されていなければ返送できませんのでご注意ください。
※封筒を同封いただいた方への控えの発送は3月上旬より順次行う予定です。

提出先 ⇒

〒664-8503 伊丹市千僧 1 - 1

右記の提出先を切り取り、封筒に貼り付けて送付してください。
※この申告書を提出するための封筒は伊丹市から送付しませんので
ご自身で用意してください。

伊丹市役所 市民税課 宛